



認定NPO法人環境ネットワーク埼玉通信



# E・N・S通信

No.27



埼玉県地球温暖化防止活動推進センター  
Saitama Center for Climate Change Actions



## Index

表紙寄稿：小瀬 博之氏  
(東洋大学総合情報学部教授)  
環境ネットワーク埼玉より  
埼玉県地球温暖化防止活動推進  
センターより  
COOL CHOICE コーナー  
事務局からお知らせ



## 「SDGs」の理念をみんなが共有するために必要なこと

東洋大学総合情報学部教授 小瀬 博之

今年12月14日に「第1回SDGsエコフォーラムin埼玉」(以下、エコフォーラム)が東洋大学川越キャンパスで開催されます。過去に「環境まちづくりフォーラム」「低炭素まちづくりフォーラム」として開催されてきた交流イベントですが、新名称で多くの方が参加してくれるのだろうか、と不安があります。SDGs(持続可能な開発目標)が掲げる「環境」「経済」「社会」の三側面の統合的向上は、あらゆる側面から環境の向上を図ること、また、環境の側面から他の側面の向上を図ることにつながりますが、十分に用語と理念が浸透していないように思えます。「SDGs」の理念を一言で表すわかりやすい訳語がほしいところです。

私は、情報分野が環境問題の解決に重要な役割を果たすと考え、2009年に新設学部に移動しましたが、「情報」を掲げる学部の入学生の関心はサイバー社会の中にあり、SDGsの理念は学生に十分に浸透していないことを実感しています。それでも、キャンパス内の「こもれびの森」を説明しながら回るだけでも環境への関心は少し高まるようで、「百聞は一見にしかず」と見えないものを「魅せる」ことの重要性を感じています。



いずれにせよ、12月のエコフォーラムでみなさまとお会いできるのを楽しみにしております。



# 環境ネットワーク埼玉より

## 令和元年度 記念講演会・通常総会を開催



斗ヶ沢秀俊氏

### 記念講演会「環境報道と環境活動 毎日新聞社の実践」

斗ヶ沢 秀俊氏（毎日新聞社営業総本部プロデューサー  
兼東京本社編集編成局編集委員）

恒例の記念講演会として、今回は毎日新聞社の斗ヶ沢氏から「報道の現場から見た環境問題や、毎日新聞社の環境活動等」について興味深いお話を伺いました。

毎日新聞社は、96年に業界で初めて紙面に環境面を作り、環境問題を積極的に報道してきました。最近では、プラスチック問題や温暖化問題について特集を組むなど、メディアならではの情報を提供しています。社会活動としては、「日韓国際環境賞」や富士山の清掃キャンペーン、MOTTAINAIキャンペーン、植樹活動など幅広く取り組んでいます。当日は、福島の福祉作業所で廃棄するお札から作っている植木鉢「金鉢くん」の紹介もありました。一つの植木鉢が1万円札50枚から出来ているようで、実物を見て参加者から歓声が上がりました。



講演の様子

毎日新聞社本社では斗ヶ沢さんが責任者となって、様々なテーマで「毎日メディアカフェ」を開催されており、とても面白い交流の場となっているとのこと。参加は自由ですので、皆様もぜひお立ち寄りください。

## 令和元年度環境ネットワーク埼玉通常総会



議事進行の様子

記念講演後、委任状を含む54正会員の参加を得て通常総会を開催しました。初めに埼玉県環境部温暖化対策課の松井明彦課長よりご来賓挨拶をいただき、続く議事では全議案が滞りなく可決承認されました。

議事終了後には、出席者全員から一言ずつご意見や普段の活動をご紹介いただきました。当団体としても、今後会員や関係団体とのより一層の連携強化を図っていく必要性を改めて感じました。



参加者意見交換の様子

### [第1回SDGsエコフォーラムin埼玉 開催予告]

これまで過去18年間にわたり開催してきた「環境まちづくりフォーラム・埼玉」「低炭素まちづくりフォーラムin埼玉」の実績を継承しつつ、時代のニーズに対応した新たな取組として「SDGsエコフォーラムin埼玉」を名を改め開催します。12月14日（土）東洋大学川越キャンパスにて、基調講演は東洋大学学長の竹村牧男氏、午後はSDGsを視野に入れた6分科会を予定しています。ぜひご参加ください。詳しくはHPで。





## 夏の環境保全見学会を開催

恒例の夏の環境保全見学会を埼玉環境カウンセラー協会との共催で、8月1日（木）、茨城県鹿行地域にある3つの施設・工場を参加者32名と一緒に見学しました。

最初に茨城県神栖市にある「ウィンドパワー・かみす」の洋上風力発電所で、職員の小松崎さんから設置に際しての苦労話や今後の展開について熱く語っていただきました。今後ウィンドパワー・かみすでは、国産製が撤退している中で製造が最後となる国産風車を用いて、沖合い2mのところに洋上風力を設置する計画が進行中で、環境アセスも終わり近々工事が始まる予定とのことです。



カネカメガソーラー

の製鋼工程を見学することができました。約1,600℃もある鋼をガス切断機で加工する様子は、熱風体験も伴い圧巻でした。さらに環境面として、製鉄工場では多くのエネルギーや資源を使用するため、同工場の省エネ、省資源の取組は、世界で最も進んでいるとのことでした。

今回参加いただいた正会員の外岡豊埼玉大学名誉教授に見学先について適宜補足説明いただいたことにより、より学習も深まって有意義な見学会となりました。

次は「株式会社カネカ」鹿島工場西地区で、2013年に工場の遊休地を使って自社で製造したパネル約11万5千枚を傾斜5度で敷き詰めた、定格出力は10MWのメガソーラーを見学しました。設置当時は日本で有数の出力を誇っていたようですが、メガソーラーが国内で拡大したため、規模は後退しているそうです。

最後の見学先である「日本製鉄株式会社」鹿島製鉄所は、世界でもトップレベルの生産規模を誇る工場です。今回は特別に、様々な鉄鋼製品の元となる鋼片の「スラブ」



日本製鉄（株）鹿島製鉄所

## 中小事業者向け省エネ支援を行っています

今年度も中小事業者の省エネ支援を行っています。経費をかけずに省エネでコスト削減と同時に、CO2削減につなげるお手伝いをしています。

埼玉県事業である埼玉県省エネナビゲーター事業では、省エネ診断の専門家（省エネナビゲーター）が、受診事業所へ赴き、既存設備の運用改善・効率化、機械の設備更新などの省エネ提案を行っています。その事務局を当団体が担っています。

さらに、埼玉県省エネ促進プラットフォームとして、経済産業省の補助金を活用して、個々の事業所に応じた経営改善を含めた、省エネのトータルアドバイスを行っています。支援希望事業所に省エネや経営の専門家が訪問し、経営課題の洗い出しから省エネ改善計画作りに至るまで、無料でアドバイスを行っています。当プラットフォームでは、省エネ関連の有資格者から中小企業診断士まで、様々な課題に対応できる専門家を40名揃え、サポート体制を整えています。県内の省エネナビゲーター事業・プラットフォーム事業ともに支援先を募集中です！10月と11月にセミナー等も開催予定していますので、是非ご参加ください。詳しくは、当HPまで。

[セミナー予告] 10月15日（火）埼玉りそな銀行ビジネスプラザさいたま  
11月25日（月）川越東上パールビルディング





# 埼玉県地球温暖化防止活動推進センターより

## 関東ブロック推進員等合同研修会の開催(9月4～5日)



推進員活動をよりレベルアップするため、関東ブロック7県3市の地域センター・推進員が集合し、合同研修会を群馬県みなかみ町で開催しました。お互いの活動紹介や情報交換、先進的な事例等について学びました。



研修会ではIGES（地球環境戦略研究機関）の小出瑠氏からカーボンフットプリントについて講議を受けました。流布されている既存の教材の中で“環境にやさしいとされる行動”が必ずしも温室効果ガス削減量が多いものではないことや、行動科学に基づいた環境配慮率先行動などを分かりやすく解説いただきました。また開催地である“みなかみ町”は利根川の源流に位置し、ユネスコエコパークやSDGsモデル都市にも選ばれており、その取組を同町役場エコパーク推進課長 高田氏から解説いただきました。自然を“まもる”“いかす”“ひろめる”取組が、自然と人が共存して価値を創造していくことにつながることを、先進事例とおし学びました。



埼玉からは地域で率先して活動されている5名の推進員が参加しました。最新の情報や他県地域との交流をおし、県内の温暖化対策のリーダーとしてさらなる活躍を期待したいと思います。

### 推進員活動紹介

今回は、狭山市を中心に熱心に活動を展開されている吉岡勇三さんについてご紹介します。吉岡さんは地元をフィールドとする“NPO法人さやま環境市民ネットワーク”、“西埼玉温暖化対策ネットワーク”に所属し、温暖化対策に関する様々な啓発活動を実践しています。昨年、狭山市内で4号機目となる市民共同発電所「マイタウンソーラー発電所」を設置したり、環境に配慮した事業所を訪問する見学会を開催するほか、温暖化による川の生態系への影響、自転車を活用した移動によるCO2ゼロPRツアーなど、幅広く活躍されています。また上述の合同研修にも参加して他地域の優良事例を地域に持ち帰るなど、最新情報を常に取り入れ、活動の参考とされています。埼玉県センターでは、引き続き推進員の皆様と協力しながら温暖化対策を推進していきます。



研修で発表する吉岡勇三氏



マイタウンソーラー発電所点灯式の様子



# COOL CHOICEコーナー

## [ 埼玉打ち水の環2019を実施 ]



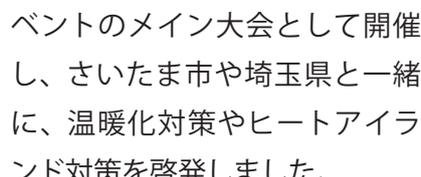
今年も身近にできるCOOL CHOICEの取組として“打ち水”を県内に広めるため、「埼玉打ち水の環2019」を実施しました。



結果多くの団体・個人にエントリーいただきました。昨年に引き続き打ち水を実施いただいた企業・団体のほかに、今回は個人によるエントリーが増え、ご家族で涼エコライフを体感いただきました。



昨年同様「さいたま打ち水大作戦2019」を、本イベントのメイン大会として開催し、さいたま市や埼玉県と一緒に、温暖化対策やヒートアイランド対策を啓発しました。



## [ さいたまエコフェスタin Summer2019でCOOL CHOICEを啓発 ]

恒例の「さいたまエコフェスタin Summer2019」を8月3日（土）浦和コミュニティセンターにて、夏休みの中多くの親子に会場いただき、開催しました。今回は新たに製作したワークショップ



COOL CHOICE啓発の様子

ツール「貼って！とめよう！ちきゅうおんだんか！」を体験いただき、楽しみながら地球温暖化について学んでいただくとともに、これから実践しようと思う“私のCOOL CHOICE宣言”をしていただきました。



ワークショップの様子



## ● 事務局からのお知らせ

### 新パンフレット「貼って！とめよう！ちきゅうおんだんか！」

今年度新たに、COOL CHOICEと地球温暖化を啓発するためのワークショップツール「貼って！とめよう！ちきゅうおんだんか！」を早稲田大学大学院・エネルギー研究科の納富研究室のメンバーと一緒に企画開発しました。小さなお子さんでも分かりやすいイラストで地球温暖化の影響と対策を考えてもらえるものになっています。ぜひイベント会場でご利用ください。

詳しくは、ホームページをご覧ください。

(<https://www.kannet-sai.org/tool/index.html>)



### インターンシップの受け入れ

今年も跡見学園女子大学から2名の学生をインターンシップで受け入れ、それぞれ10日間当団体業務を体験してもらいました。イベント会場でのワークショップの補助や、イベント開催に向けた事務作業や啓発ツール作成など、緊張しながらも一生懸命取り組んでくれました。短い期間でしたが、この体験が今後の活躍の中で活かされることを期待したいと思います。

### 【新会員・寄付者一覧】（平成31年4月1日以降）

個人正会員：土屋ひろみ様、柴田敏郎様

個人賛助会員：松島昇様

団体（非営利）賛助会員：かわごえ環境ネット様、

特定非営利活動法人地球友の会埼玉協会様

寄付：赤井清様、会員有志

### ■表紙の写真より■

夏の見学会で訪れた「ウィンドパワー・かみす」の洋上風力発電（茨城県神栖市）



## 編集・発行

発行日 2019年9月30日

埼玉県地球温暖化防止活動推進センター／認定特定非営利活動法人環境ネットワーク埼玉

埼玉県さいたま市浦和区北浦和5-6-5 埼玉県浦和合同庁舎3階

TEL：048-749-1217 FAX：048-749-1218

<http://www.kannet-sai.org/index.html>

閉館日：土・日、祝日 開館時間：9時～17時

情報やお知らせ等、是非お寄せください。

